



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場会社名 株式会社 近鉄エクスプレス
 コード番号 9375 URL <http://www.kwe.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石崎 哲
 (氏名) 乾 和雄

TEL 03-6863-6445

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	64,192	△5.5	3,361	△0.6	3,676	0.2	2,382	△0.3
24年3月期第1四半期	67,923	6.8	3,382	49.2	3,668	49.0	2,389	102.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 5,454百万円 (46.2%) 24年3月期第1四半期 3,729百万円 (80.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	66.19	—
24年3月期第1四半期	66.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	137,158	82,814	58.7
24年3月期	125,437	78,080	60.7

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 80,557百万円 24年3月期 76,090百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	135,000	△0.8	6,700	0.6	6,700	△5.5	4,000	△15.2	111.11
通期	300,000	13.5	15,000	8.5	15,000	1.0	9,500	△0.5	263.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	36,000,000 株	24年3月期	36,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	714 株	24年3月期	714 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	35,999,286 株	24年3月期1Q	35,999,387 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（以下、当第1四半期という。）における世界経済は、欧州の信用不安再燃から全体として減速感が広がり、中国やインド等でも成長率が鈍化しました。

我が国経済は、東日本大震災の復興需要等の内需が牽引し、緩やかな回復基調となりました。

また、当社グループが主に関わる国際貨物市場では、薄型テレビ等エレクトロニクス関連品の世界的な需要の落ち込みもあり、全体的に低調に推移しました。

このような状況の中、当第1四半期の当社グループ全体の航空輸出貨物重量は前年同期比6.2%減、航空輸入貨物件数は同0.4%減となりました。海上貨物輸送は、輸出容積で前年同期比4.6%増、輸入件数で同1.1%増となりました。また、ロジスティクスにつきましては、国際貨物輸送の不調に伴い、全体として低調に推移しました。

各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

<日本>

航空輸出貨物は、米州向け自動車関連品の輸送が好調に推移しましたが、欧州およびアジア向けではエレクトロニクス関連品を中心に依然として輸送需要の回復が見られず、取扱重量は前年同期比11.4%減となりました。航空輸入貨物は、スマートフォンや半導体関連品等で堅調な取扱が見られましたが、その他は活況感に乏しく、取扱件数は前年同期比0.3%減となりました。海上貨物は、輸出では自動車関連品を始め化成品関連の出荷が増加し、取扱容積で前年同期比10.4%増となりましたが、輸入では前年同期の住宅資材大口輸送の反動の他、アパレル、雑貨関連品等で荷動きが鈍化し、取扱件数で前年同期比1.4%減となりました。ロジスティクスにつきましては、大手顧客の取扱いが減少し低調に推移しました。

この結果、国内関係会社を含めた日本の営業収入は26,912百万円（前年同期比7.6%減）となり、営業利益は営業原価の低減に努めたため、1,091百万円（同8.7%増）となりました。

<米州>

航空輸出貨物は、メディカル関連品の堅調な荷動きがあったものの、目立った大口貨物やスポット貨物がなく、取扱重量は前年同期比2.3%減となりました。航空輸入貨物は、自動車関連品で取扱が増加しましたが、一部で海上輸送へのシフトが見られ、取扱件数で前年同期比2.8%減となりました。海上貨物は、輸出では前年の大口出荷の反動により、取扱容積で前年同期比5.1%減となった一方、輸入ではアパレル関連品の新規取扱いや航空輸送からのシフトもあり、取扱件数で同16.2%増となりました。ロジスティクスにつきましては、拡張を行ったカナダ・ゲルフ倉庫以外では大きな伸びが見られず、全体としては前年同期を下回る結果となりました。

この結果、米州全体の営業収入は7,862百万円（前年同期比6.6%減）となり、営業利益は営業原価の低減に努めたため、436百万円（同11.1%増）となりました。

<欧州・中近東・アフリカ>

航空輸出貨物は、自動車関連品やエレクトロニクス関連品等で全体的に輸送需要の停滞や海上輸送へのシフトが見られ、取扱重量は前年同期比12.0%減と大きく減少しました。航空輸入貨物は、中・東欧向け薄型テレビ関連品の大幅な減少や既存顧客の低調な荷動きにより、取扱件数は前年同期比8.6%減となりました。海上貨物は、輸出では自動車関連品や住宅関連品の取扱増加により、取扱容積で前年同期比5.5%増となり、輸入では鉄鋼・プラント関連輸送の取扱いが寄与し、取扱件数は同4.6%増となりました。ロジスティクスにつきましては、大きな伸びが見られない中、サービスインフラの整備を行ってきた中近東地域において取扱いが拡大しました。

この結果、欧州・中近東・アフリカ全体の営業収入は5,955百万円（前年同期比7.9%減）、営業利益は79百万円（同57.2%減）となりました。

<東アジア・オセアニア>

航空輸出貨物は、スマートフォン関連品や車載関連品等で輸送需要が増加し、取扱重量は前年同期比1.7%増となりました。航空輸入貨物は、半導体等電子部品で堅調な荷動きが見られ、取扱件数は前年同期比0.6%増となりました。海上貨物は、輸出では中東向けスポット貨物があったものの全体としては低調に推移し、取扱容積で前年同期比0.6%減となり、輸入では設備関連の輸送が減少し、取扱件数で同2.0%減となりました。ロジスティクスにつきましては、上海の保税倉庫拡張等により大手顧客の取扱いが拡大しました。

この結果、東アジア・オセアニア全体の営業収入は17,628百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は1,151百万円（同8.5%減）となりました。

<東南アジア>

航空輸出貨物は、半導体等エレクトロニクス関連品での物量の減少や海上輸送へのシフトにより、取扱重量は前年同期比12.7%減となりました。航空輸入貨物は、タイの洪水の影響による設備関連輸送や部品・部材の輸送需要が増加し、取扱件数は前年同期比4.3%増となりました。海上貨物は、輸出で大型設備のスポット輸送やエレクトロニクス関連品、自動車関連品で取扱いが増加し、取扱容積で前年同期比24.1%増となり、輸入でも機械設備等の輸送が増加し、取扱件数で同3.6%増となりました。ロジスティクスにつきましては、タイの洪水の影響による保管需要の増加やインドでの新倉庫の稼働などにより取扱いが拡大しました。

この結果、東南アジア全体の営業収入は6,860百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益は463百万円（同1.3%増）となりました。

以上のとおり、当社グループは一体となって販売活動を推進し、加えて固定費、流動費の抑制を継続して実施してまいりました。その結果、当第1四半期の連結営業収入は64,192百万円（前年同期比5.5%減）、同営業利益は3,361百万円（同0.6%減）、同経常利益は3,676百万円（同0.2%増）、同四半期純利益は2,382百万円（同0.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金、営業未収入金が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べて11,721百万円増加し、137,158百万円となりました。

負債は、営業未払金や短期借入金が増加した一方、長期借入金が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ6,987百万円増加し、54,344百万円となりました。純資産は、利益剰余金や為替換算調整勘定が増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ4,734百万円増加し、82,814百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、欧州の信用不安の長期化による世界経済の減速懸念、それに伴う新興国の経済成長の鈍化予測など不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画“Ready for the Next！（未来への挑戦）”（平成23年3月期～平成25年3月期、3ヵ年）の最終年度の目標達成に向け、積極的に事業の拡大を図ってまいります。

当社グループの業績は世界景気、為替や原油価格の動向などにより変動する可能性もありますが、現時点における平成25年3月期の業績予想は平成24年5月9日に公表したとおり、連結営業収入は300,000百万円（前期比13.5%増）、同営業利益は15,000百万円（同8.5%増）、同経常利益は15,000百万円（同1.0%増）、同当期純利益は9,500百万円（同0.5%減）を見込んでおり、変更はありません。

(注) 業績の予想に関する注意事項

上記の予想数値は現時点で得られた情報に基づいて判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因により当該予想と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これに伴う当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,943	44,799
受取手形及び営業未収入金	43,065	45,899
その他	3,602	4,086
貸倒引当金	△292	△319
流動資産合計	83,318	94,465
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,355	18,543
土地	10,523	10,690
その他（純額）	2,782	2,896
有形固定資産合計	31,661	32,131
無形固定資産		
のれん	335	350
その他	1,263	1,225
無形固定資産合計	1,599	1,576
投資その他の資産	8,857	8,985
固定資産合計	42,118	42,693
資産合計	125,437	137,158
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	19,396	20,244
短期借入金	9,063	18,527
未払法人税等	1,823	1,398
賞与引当金	1,790	1,273
役員賞与引当金	196	92
米国独禁法関連引当金	860	830
その他	7,340	8,441
流動負債合計	40,471	50,809
固定負債		
長期借入金	4,854	1,332
退職給付引当金	1,315	1,499
その他	715	702
固定負債合計	6,885	3,535
負債合計	47,356	54,344

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,216	7,216
資本剰余金	4,867	4,867
利益剰余金	72,690	74,353
自己株式	△1	△1
株主資本合計	84,772	86,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180	97
為替換算調整勘定	△8,862	△5,975
その他の包括利益累計額合計	△8,681	△5,877
少数株主持分	1,989	2,256
純資産合計	78,080	82,814
負債純資産合計	125,437	137,158

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業収入	67,923	64,192
営業原価	57,240	53,370
営業総利益	10,683	10,821
販売費及び一般管理費	7,300	7,460
営業利益	3,382	3,361
営業外収益		
受取利息	46	72
受取配当金	5	3
負ののれん償却額	8	8
持分法による投資利益	90	45
為替差益	74	205
雑収入	129	53
営業外収益合計	355	389
営業外費用		
支払利息	58	71
雑支出	10	2
営業外費用合計	68	74
経常利益	3,668	3,676
特別利益		
固定資産売却益	—	5
特別利益合計	—	5
特別損失		
固定資産除却損	8	—
投資有価証券評価損	16	5
ゴルフ会員権評価損	17	—
子会社清算損	15	—
特別損失合計	58	5
税金等調整前四半期純利益	3,610	3,676
法人税等	1,066	1,164
少数株主損益調整前四半期純利益	2,543	2,512
少数株主利益	154	129
四半期純利益	2,389	2,382

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,543	2,512
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△14	△83
為替換算調整勘定	1,232	3,025
持分法適用会社に対する持分相当額	△32	—
その他の包括利益合計	1,185	2,941
四半期包括利益	3,729	5,454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,532	5,186
少数株主に係る四半期包括利益	197	267

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	日本	米州	欧州・ 中近東・ アフリカ	東アジア・ オセアニア	東南 アジア	計				
営業収入										
外部顧客への営業収入	28,871	8,032	6,221	17,747	6,979	67,851	72	67,923	—	67,923
セグメント間の内部営業収入又は振替高	245	386	245	183	83	1,143	414	1,557	△1,557	—
計	29,116	8,418	6,466	17,930	7,062	68,994	487	69,481	△1,557	67,923
セグメント利益	1,003	393	185	1,258	457	3,298	96	3,394	△12	3,382

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社グループ内部への物流付帯事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△12百万円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 日本を除く各セグメントに属する主な国又は地域は次のとおりであります。

(1) 米州……………米国、カナダ、及び中南米諸国

(2) 欧州・中近東・アフリカ……………英国、ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、スイス、アイルランド及びその他の欧州、ロシア、アフリカ諸国、中近東諸国

(3) 東アジア・オセアニア……………香港、中国、韓国、台湾、フィリピン、オーストラリア

(4) 東南アジア……………シンガポール、マレーシア、タイ、インド、インドネシア、ベトナム

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	日本	米州	欧州・ 中近東・ アフリカ	東アジア・ オセアニア	東南 アジア	計				
営業収入										
外部顧客への営業収入	26,583	7,495	5,769	17,481	6,785	64,115	77	64,192	—	64,192
セグメント間の内部営業収入又は振替高	328	367	186	147	75	1,105	403	1,508	△1,508	—
計	26,912	7,862	5,955	17,628	6,860	65,220	480	65,700	△1,508	64,192
セグメント利益	1,091	436	79	1,151	463	3,222	98	3,321	40	3,361

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社グループ内部への物流付帯事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額40百万円は、セグメント間取引消去です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 日本を除く各セグメントに属する主な国又は地域は次のとおりであります。

(1) 米州……………米国、カナダ、及び中南米諸国

(2) 欧州・中近東・アフリカ……………英国、ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、スイス、アイルランド及びその他の欧州、ロシア、アフリカ諸国、中近東諸国

(3) 東アジア・オセアニア……………香港、中国、韓国、台湾、フィリピン、オーストラリア

(4) 東南アジア……………シンガポール、マレーシア、タイ、インド、インドネシア、ベトナム